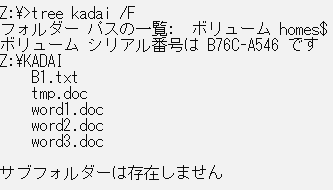
◆目的

コマンドプロンプトとは、Command(命令)、Prompt(コンピュータが入力を待っている状態)を指し、マウスで操作するのではなく、MS-DOSと同じ、キーボードから利用者が直接コマンド文字列を打ち込むことができるインターフェースを提供するプログラムである。

　本実験では、C言語などのプログラム開発を行う範囲で使用するMS-DOSコマンドの使い方を学ぶ。

◆課題1



◆課題2

コマンドプロンプトで、【dir > c1.txt】と入力する。

◆課題3

コマンドプロンプトで、【rename word1.doc tmp.doc】と入力する。

◆課題4

コマンドプロンプトで、【cd ..】と入力する。

◆課題5

Z:\kadai\word2.doc

◆課題6

◇相対パスを使った方法

cd Z:\kadai\

mkdir exe

copy word1.doc exe\word1.doc

del word1.doc

copy word2.doc exe\word2.doc

del word2.doc

copy word3.doc exe\word3.doc

del word3.doc

◇絶対パスを使った方法

mkdir Z:\kadai\exe

copy Z:\kadai\word1.doc Z:\kadai\exe\word1.doc

del Z:\kadai\word1.doc

copy Z:\kadai\word2.doc Z:\kadai\exe\word2.doc

del Z:\kadai\word2.doc

copy Z:\kadai\word2.doc Z:\kadai\exe\word2.doc

del Z:\kadai\word2.doc

◆考察

コマンドプロンプトで使用可能なコマンドや、そのコマンドの使い方について学ぶことができた。また、リダイレクションを使用することで、コマンドの実行結果をテキストファイルとして保存することができるということが分かった。

　プログラミングの実習において、コマンドプロンプトを使用することは良くあったが、今までcdコマンドやdirコマンドの2つ程しか、活用できていなかったので、今回の実験で学んだコマンドも活用したい。

◆感想

　実験で『カレントディレクトリ』『カレントドライブ』『ディレクトリの親関係』などの専門用語がいくつか出てきていて、勉強になった。